

令和3年度 当初予算の概要

事業集



三木市 Miki City

目 次

【新】新規事業、（拡）拡充事業、（継）継続事業、（施）施設改修

テーマ	柱	項 目	担当課	ページ
	新型コロナウイルス感染症対策	1 【新】 新型コロナウイルスワクチン接種の推進	健康増進課	4
		2 （継） 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金を支給	商工振興課	5
		3 （継） 学校・園等における感染症対策の充実	教育総務課、教育施設課、教育・保育課	6
未来へつなぐ人と暮らしづくり	①結婚・出産・子育てを支えるまち	4 （拡） 結婚新生活支援事業を拡充	縁結び課	7
		5 （拡） 「多胎妊婦の妊婦健康診査費」の補助を拡充	健康増進課	8
		6 【新】 おたふくかぜワクチンの予防接種費用の一部を助成	健康増進課	9
		7 【新】 子ども・子育て支援アプリ「母子モ」を導入	健康増進課	10
		8 （拡） 夫婦で受けられた不妊検査（ペア検査）費用の助成を拡充	健康増進課	11
	②豊かな学びで未来を拓くまち	9 【新】 寄附金を活用した学校の備品等の整備	教育施設課	12
		10 （施） 小・中・特別支援学校施設の改修	教育施設課	13
		11 （施） 小・中学校における障がい児への対応	教育施設課	14
		12 （継） 小・中学校の統合事業	教育施設課	15
		13 （施） 各地域の公民館の改修	生涯学習課	16
		14 （拡） 外国人児童・生徒へのサポートの充実	学校教育課	17
		15 【新】 オンライン学習推進のためのWi-Fi環境等の整備	教育・保育課、教育センター	18
	③安心して暮らせるまち	16 （拡） 障がい者等の自発的な活動を支援	障害福祉課	19
		17 （拡） 「がん検診」無料の対象年齢を拡大	健康増進課	20
		18 【新】 若年者の在宅ターミナルケアを支援	健康増進課	21
		19 （拡） 緊急通報システム事業の対象者を拡充	介護保険課	22
		20 【新】 花のあるまちづくり活動の促進支援	都市政策課	23
		21 【新】 吉川支所再配置事業	市民生活課	24
		22 【新】 認知症カフェの運営を支援	介護保険課	25

目 次

【新】新規事業、（拡）拡充事業、（継）継続事業、（施）施設改修

テーマ	柱	項 目	担当課	ページ	
安全・安心なまちづくり	①暮らしに必要な環境を整えるまち	23 （施）次期ごみ処理施設の整備	生活環境課	26	
		24 【新】三木市「クールチョイス」の推進	生活環境課	27	
		25 【新】吉川地域におけるデマンド型交通の運行	交通政策課	28	
		26 【新】中国自動車道吉川インター駐車場の拡張整備	交通政策課	29	
		27 （継）神戸電鉄粟生線三木駅の再生	交通政策課	30	
	②持続可能なまち	28 （施）し尿処理施設の更新	環境課	31	
		29 【新】地籍調査事業の推進	農業振興課	32	
		30 （施）市内の主要幹線道路等の整備や老朽化した橋梁の補修	道路河川課	33	
		31 【新】広野自由が丘線の整備を検討	都市政策課	34	
	③防災のまち	32 （施）公共施設再配置の推進	財政課	35	
		33 （継）地域防災計画の見直し	危機管理課	36	
		34 （継）ため池ハザードマップを作成	農業振興課	37	
		35 （継）大規模盛土造成地の調査を実施	建築住宅課	38	
	いきいき輝く魅力づくり	①地域資源で人を呼び込むまち	36 （拡）「三木版るるぶ」を更新	観光振興課	39
			37 （拡）サイクルツーリズムを推進	観光振興課・道路河川課	40
38 【新】山田錦の郷の活性化の推進			観光振興課	41	
②地域の魅力を伝えるまち		39 （継）三木金物ブランド戦略の推進	商工振興課	42	
		40 （継）酒米山田錦のブランド化を推進	農業振興課	43	
③地域の魅力を高めるまち		41 （継）三木市史の編さん	市史編さん室	44	
		42 【新】異業種の交流・連携の推進	商工振興課	45	
		43 （継）ゴルフを核にしたまちづくりの推進	ゴルフのまち推進課	46	

目 次

【新】新規事業、（拡）拡充事業、（継）継続事業、（施）施設改修

テーマ	柱	項 目	担当課	ページ
魅力づくり いきいき輝く	③地域の魅力を高めるまち	44 【新】 新しい農業のかたちの創出	農業振興課	47
		45 （拡） 地産地消の推進（学校給食事業への繰り出しを増額）	農業振興課	48
		46 （継） スマートインターチェンジの整備	プロジェクト推進課	49
		47 （継） ひょうご情報公園都市の整備の促進	プロジェクト推進課	50
		48 【新】 郷土の文化・芸術の発信の強化（上田桑鳩寄贈作品の活用）	文化・スポーツ課	51
その他		49 （施） グループウェアやネットワーク機器等の更新	企画政策課	52
		50 【新】 市議会にタブレット端末を導入	議会事務局	53

事業名

新型コロナウイルスワクチンの接種の推進
(健康福祉部 健康増進課)

事業費 :2億2,751万円

新型コロナウイルスワクチンを市民が安全に円滑に接種できるように実施し、新型コロナウイルスの感染拡大の防止を図ります。

65歳以上 3月下旬
65歳未満 4月以降順次

新型コロナウイルス
ワクチンの
クーポン券が届く
※接種券・案内文が同封



接種日を予約

電話
(コールセンター)



インターネット



FAX



いずれかの方法で
予約をする

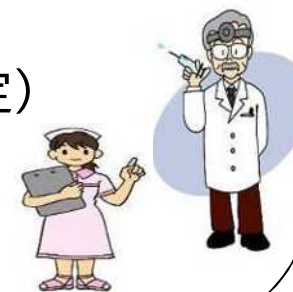
4月以降、高齢者から順次接種を開始(予定)

新型コロナウイルスワクチンの
予防接種を受ける

◎集団接種

総合保健福祉センター
または
吉川健康福祉センター

◎個別接種 (時期は未定)
協力医療機関



事業名	新型コロナウイルス感染症拡大防止協力を支給 (県・市 協調事業) (産業振興部 商工振興課)	事業費 :3,685万円(3月補正) (全体事業費:6,975万円)
-----	---	---------------------------------------

新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言により、兵庫県の営業時間短縮の要請に協力した飲食店事業者に対して、新型コロナウイルス感染症拡大防止協力を県と協調して支給します。

新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金

要請期間	【第1期】25日間 令和3年1月14日～2月7日	【第2期】28日間 令和3年2月8日～3月7日
対象施設	飲食店営業許可または喫茶店の営業許可を受けている飲食店	
支給要件	通常午後8時以降も営業している店舗が営業時間を短縮 (午前5時～午後8時・酒類の提供は午前11時～午後7時)	
支給額	1日当たり6万円(定休日や不定休による店休日は含まない)	

県・市

協力金



短縮営業しています



事業名

学校・園等における感染症対策の充実
(教育総務部 教育総務課・教育施設課、教育振興部 教育・保育課)

事業費 :4,140万円
(3月補正)

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化していることから、小学校、中学校、特別支援学校及び民間施設を含む就学前施設、アフタースクールにおける教育、保育活動を継続していく上で必要な感染症対策を行うため、国の3次補正予算を活用し、必要な物品等を整備します。

小学校14、中学校7、特別支援学校1
合計22施設

主な整備内容

サーマルカメラ、空気清浄機、足踏み式消毒スタンド、飛沫防止パネル、消毒用アルコール、ハンドソープ、ペーパータオル等

【2,400万円】



認定こども園14、保育所1、地域型保育事業所7、幼稚園4、アフタースクール13
合計39施設

主な整備内容

サーマルカメラ、空気清浄機、大型加湿器、飛沫防止パネル、消毒用アルコール、ハンドソープ、ペーパータオル等

※民間施設に対しては、対象費用を助成

【1,740万円】

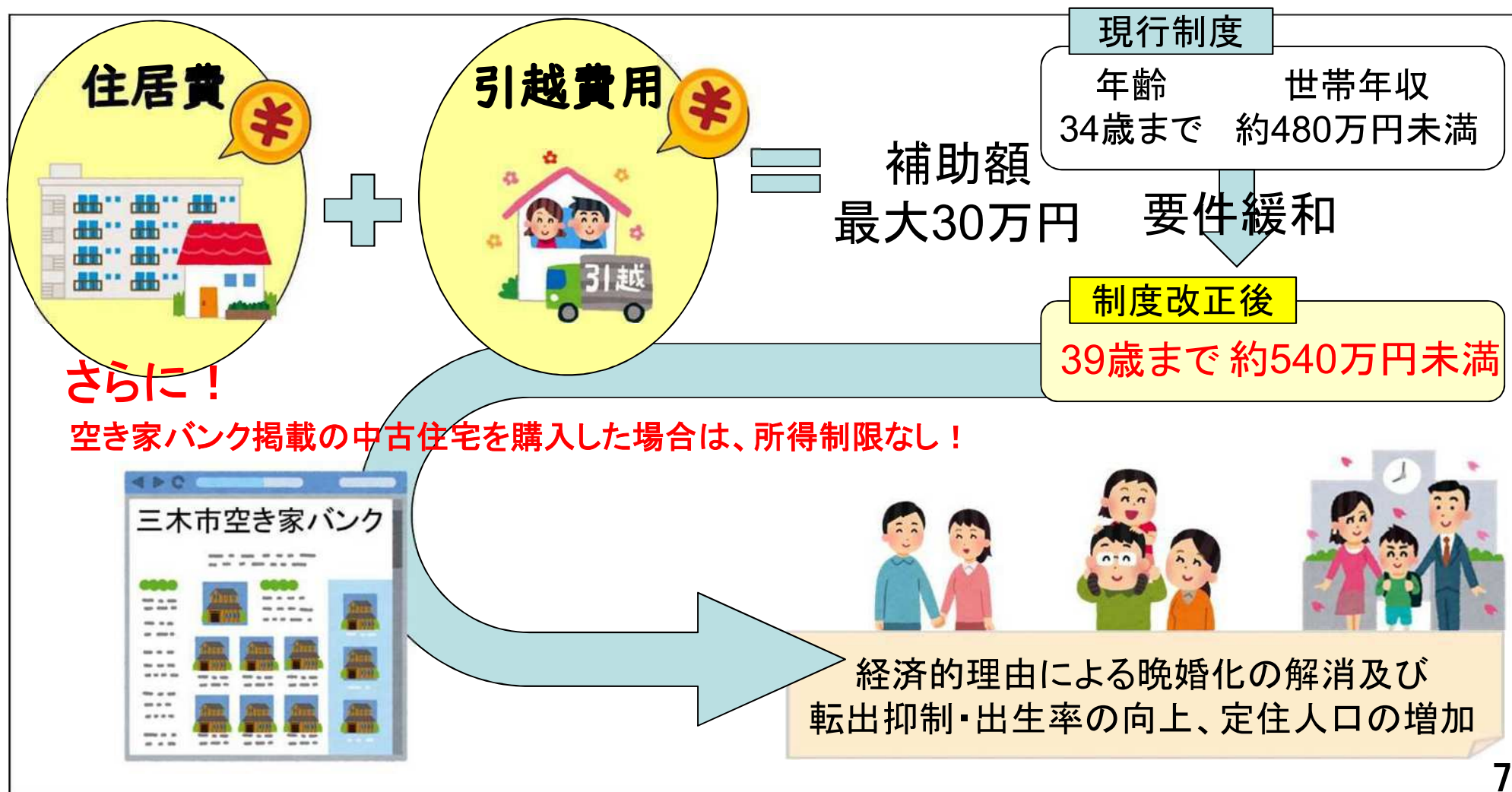


事業名 結婚新生活支援事業を拡充（総合政策部 縁結び課）

事業費：904万円

夫婦どちらもが39歳までの世帯年収約540万円未満の新規に婚姻した世帯に対し、1世帯当たり30万円を上限に、新婚生活に係る費用（新居の住居費、引越費用）を補助します。

さらに、市の空き家バンクを活用して中古住宅を購入された場合、所得制限を撤廃します。



事業名

「多胎妊婦の妊婦健康診査費」の補助を拡充
(健康福祉部 健康増進課)

事業費：20万円

多胎児を妊娠した妊婦は、単胎妊娠の場合よりも多くの妊婦健康診査受診が推奨されており、受診に伴う経済的な負担が大きくなることから、通常14回程度の妊婦健康診査よりも追加で受診する健康診査費にかかる費用を補助します。

多胎妊娠の妊婦健診の補助を拡充します！

従来

赤ちゃんが元気か不安...
先生に診てほしい



受診が増えると、
お金がかかる



- ・多胎妊婦は多くの健診が必要
- ・健診回数が増えると負担が増える

- ❖ 助成回数 5回分追加 → 合計 **19回**
- ❖ 助成額 2万5千円分追加 → 合計 **13万円**

安心して出産
できた！！



- ・経済的負担の軽減
- ・必要分の受診が
できて安心

拡充

	単胎	多胎
回数	14回	19回
助成額	10万5千円	13万円

※回数、助成額はいずれも上限です

事業名

おたふくかぜワクチンの予防接種費用の一部を助成
(健康福祉部 健康増進課)

事業費： 100万円

おたふくかぜワクチンの接種（任意）に係る費用の一部を助成し、疾病予防と髄膜炎や難聴などの合併症の発症を予防します。

対症療法しかないなんて……。
症状がひどいと、合併症が心配



高熱がつづく！
痛みで食事がとれない！
難聴になるリスクも！

- ☆ 助成額：2,000円（助成回数は1回）
- ☆ 対象者：12か月～24か月未満の幼児
- ☆ 令和3年4月開始

助成があると利用しやすい。
予防できると安心！

1歳～1歳3か月が接種
開始の目安です。



おたふくかぜワクチン接種費用：5,000円～7,000円

事業費：66万円

事業名

子ども・子育て支援アプリ「母子モ」を導入
(健康福祉部 健康増進課)

子どもの成長や予防接種の記録が管理でき、子育てに関する三木市からの情報等が一元的に管理できるアプリを導入し、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援により、子育ての「不安解消」、「負担軽減」、「孤立化の解消」を図ります。

お知らせ



●子どもごとの健康データの記録・管理。バックアップは災害時の備えにもなる。

●出産・育児に関するアドバイスが画像・動画で分かりやすい。

●予防接種のスケジュール管理。お知らせ機能・調整機能で受け忘れを防ぐ。

●離れた地域に住む祖父母など家族とつながって共有。



必要な人に必要な情報が必要なタイミングに届く！
さらに三木市情報がプラス！



母子健康手帳の受取『母子モ』登録

●三木市独自の情報が追加！

- ・三木市ホームページへのリンク
- ・地域の情報
- ・イベントのお知らせ
- ・11か国12言語に対応して配信
- ・外出自粛のような状況でも自治体からの大切な情報を即時にお届け



自分の国のことばで分かりやすいわ♪



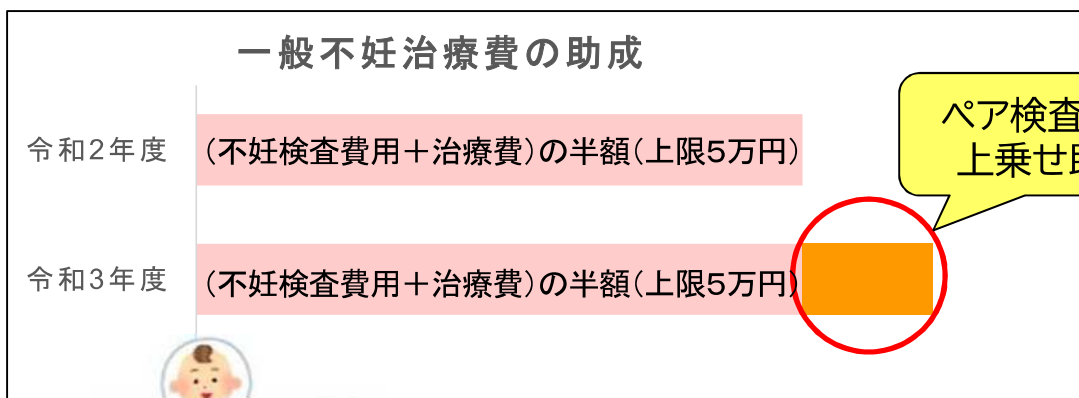
必要なお知らせが届くから、忙しいママでも安心☆

事業名	夫婦で受けられた不妊検査(ペア検査)費用の助成を拡充 (健康福祉部 健康増進課)
-----	---

事業費：20万円

子どもを望まれる夫婦が早期に検査を受け、必要に応じて適切な治療を開始することができるよう、不妊検査にかかる保険適用外の検査費用を一般不妊治療費の助成額に追加して助成します。

- 対象者：三木市に住民票のある夫婦（事実婚を含む）
初診日における妻の年齢が43歳未満の方
- 所得制限：夫婦合算の前年の所得額400万円未満
- 助成内容：夫婦そろって受けられた不妊にかかる検査（ペア検査）の費用を一般不妊治療費の助成額に追加して助成
- 助成額：保険適用外の4項目のペア検査に要した費用の7割
(甲状腺機能検査・抗精子抗体検査・感染症検査・血液型検査)



二人で検査を受けよう



不妊の原因は男性、女性どちらにも有する可能性があります。
子どもを授かりたいけれど、なかなか妊娠しないといった場合は、
夫婦そろって不妊検査を受けてみませんか。

事業名

寄附金を活用した学校の備品等の整備
(教育総務部 教育施設課)

事業費 :1,000万円

三木市の子どもたちの学力向上や教育環境の充実のために令和2年に頂いた多額の寄附金を活用し、学校の備品等の充実を図ります。

寄付金を活用した備品の整備

小学校14校、中学校7校、特別支援学校1校の備品の整備を進めます。

・電子黒板(22台)

国の進めるGIGAスクール構想の推進により、1人1台のタブレット端末が整備されている中で電子黒板を活用することにより、更なるICT教育の充実を図ります。

・図書(22校)

本を読む習慣を身につけ、様々な知識を習得する基礎を育むため、学校図書の充実を図ります。



事業名

小・中・特別支援学校施設の改修

(教育総務部 教育施設課)

事業費 : 3億1,284万円

(うち3月補正: 3億54万円)

三木市立学校の施設の老朽化に伴い屋上防水や外壁補修、空調改修、トイレ改修を行い、教育環境の整備に努めます。

屋上防水・校舎外壁改修

- ・三樹小学校
施設の老朽化に伴う大規模な改修工事を実施

【1億8,500万円】



空調設備改修

- ・緑が丘小学校、緑が丘東小学校、自由が丘東小学校、志染小学校
三木特別支援学校
空調設備の更新工事を実施

【2,830万円】



トイレ改修

- ・自由が丘小学校
洋式化ができていない
トイレの洋式化工事を実施

【9,954万円】



教育環境の整備



事業名

小・中学校における障がい児への対応
(教育総務部 教育施設課)

事業費 :5,940万円
(うち3月補正:5,290万円)

肢体不自由等の障がいをもった児童が、入学後も安心して学校生活を送れるよう、学校施設の改修を進めます。

・エレベーター設置工事及び実施設計

口吉川小学校・三木東中学校

校内を円滑に移動できるようにエレベーターやスロープを設置し、学校のバリアフリー化を図ります。

また、令和4年度に工事を計画している三木東中学校のエレベーターの設計に着手します。

【4,900万円】



・紫外線防止対策・空調設備工事

自由が丘中学校

紫外線に弱い生徒が安全に学校施設を利用できるよう、教室や体育館等の窓ガラスに紫外線防止フィルムを貼ります。

また、新たに設置する支援教室に空調設備を整備します。

【1,040万円】



事業名

小・中学校の統合事業

(教育総務部 教育施設課)

事業費 :5,232万円

準備を進めてきた中吉川小学校、上吉川小学校、みなぎ台小学校が統合し「吉川小学校」、志染中学校と緑が丘中学校が統合し「緑が丘中学校」として令和3年4月からの新たなスタートに伴い、スクールバスを運行します。また、令和4年度に星陽中学校と三木中学校の統合に伴い円滑に学校運営ができるよう準備を進めます。

令和3年度から
「吉川小学校」、「緑が丘中学校」の開校

- ・統合に伴うスクールバスの運行
吉川小学校 ……4ルート
緑が丘中学校 ……1ルート
【4,332万円】



令和4年度から
星陽中学校、三木中学校の統合準備

- ・スクールバス転回場の整備
- ・テニスコートの整備
【900万円】



事業名

各地域の公民館の改修

(教育総務部 生涯学習課)

事業費 : 3,140万円

地域コミュニティや生涯学習の拠点であるとともに、災害時の避難所である公民館等を長く使えるように設備等の施設の改修、更新工事を行います。

市民にとって一番身近な施設



地域の市民



- ・口吉川町公民館
事業費: 430万円
- ・自由が丘公民館
事業費: 1,710万円
- ・青山公民館
事業費: 1,000万円

多くの人が集い、活動する施設を
今後も長く使い続けるために整備

- ・災害時の安心・安全な避難所
- ・安全なまちづくりを進めるための活動拠点
- ・誰もが集い、多くの人との触れ合いと交流の拠点
- ・市民のニーズに応えるまちづくりステーション

事業名

外国人児童・生徒へのサポートの充実
(教育振興部 学校教育課)

事業費 :667万円

母語支援や日本語指導が必要な外国人児童生徒に対し、母語を話すことのできる外国人児童生徒初期指導補助員を学校に派遣し、児童生徒の心の安定や学力保障を図るなど、外国人児童生徒へのサポートをより充実させます。

- ・新たに来日した外国人児童生徒の増加に伴い、母語支援の必要な児童生徒が増えている。
- ・来日1年間は、県が子ども多文化共生サポーター(通訳・学習支援等)を配置するが、2年目は、市独自に外国人児童生徒初期指導補助員を配置し、児童生徒、保護者を支援します。



市内外国人児童生徒の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)
外国人児童生徒数	63人	88人	95人
母語支援が必要な児童生徒数(県費)(来日1年目)	5人	10人	9人
母語支援が必要な児童生徒数(市費)(来日2年目)	3人	5人	10人

支援が必要な来日2年目の外国人児童生徒が増加することから、外国人児童生徒初期指導補助員を増員します。

事業名

オンライン学習推進のためのWi-Fi環境等の整備
(教育・保育課、教育センター)

事業費 : 147万円

すべての環境(学校、アフタースクール、家庭)で、オンライン状態で1人1台のタブレット端末を使えるようにします。とりわけ、長期休業や臨時休業の際、アフタースクールにおいても、在宅児童と格差が生じないようにネットワーク環境を整備します。

学校

アフター
スクール

家庭

学校、アフタースクール、家庭のどの環境でもオンラインを活用した学習に取り組む。
長期休業や臨時休業の際、オンラインで教員と連絡をとったり、課題に取り組んだりする。

タブレットドリル

課題の受取・提出

オンライン学習



オンラインで取り組み、
学習履歴を残す。
教員は学習状況を確認する。

タブレットに配られた課題を
タブレット内のソフトで取り組
み、担任に提出する。

臨時休校や長期休業の際に
授業を受けたり、教員に質問
したりして学びを保障する。

校舎外にあるアフタースクールにモバイル
Wi-Fiルータを設置(7施設へ15台)
年間使用料70万円

授業や学習目的でネットワークを使って著作物を配
信する場合の年間利用料。小学生120円/人、中学
生180円/人 年間見込み77万円

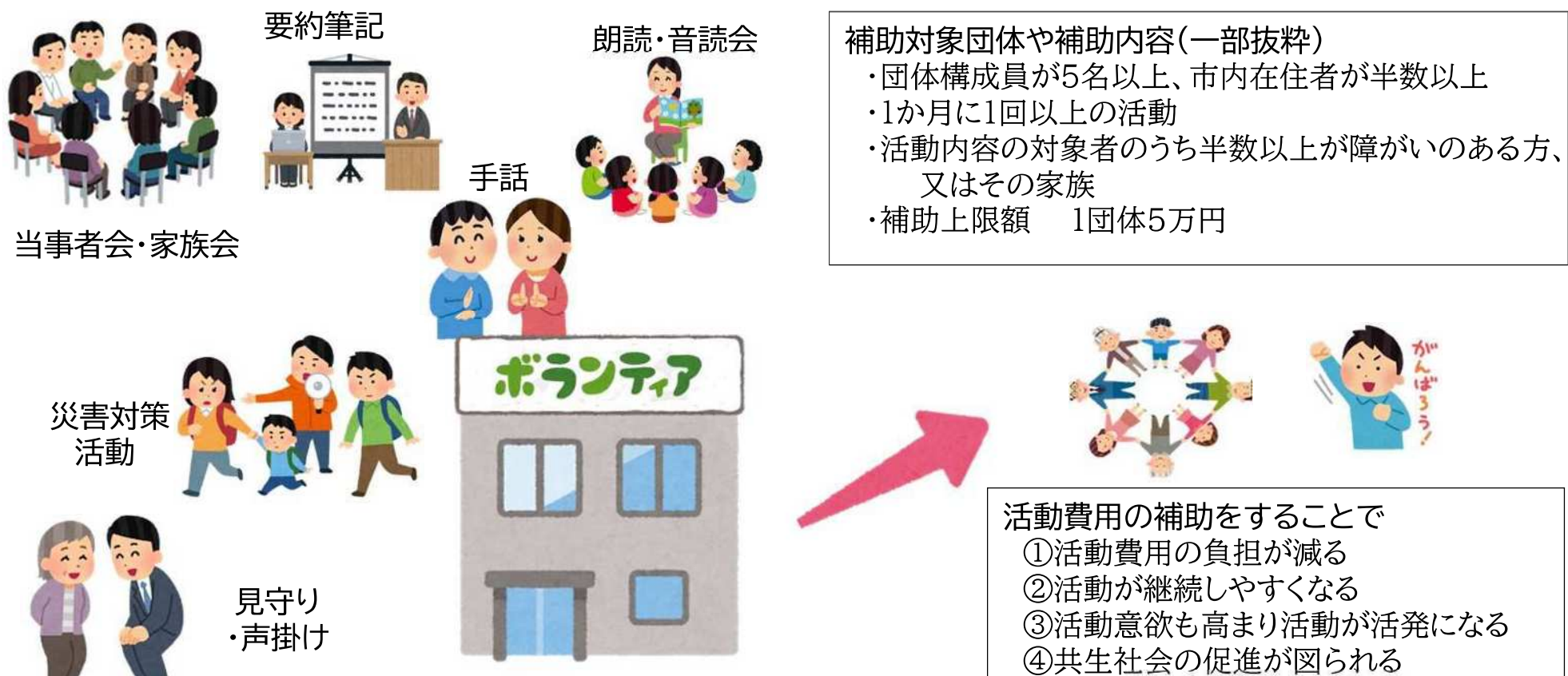
事業名

障がい者等の自発的な活動を支援

(健康福祉部 障害福祉課)

事業費 :90万円

障がい者や市民団体で障がい者の支援を目的とする活動に対して補助を行うことで、活動を支援し共生社会の実現を図ります。



補助対象団体や補助内容(一部抜粋)

- ・団体構成員が5名以上、市内在住者が半数以上
- ・1か月に1回以上の活動
- ・活動内容の対象者のうち半数以上が障がいのある方、又はその家族
- ・補助上限額 1団体5万円

活動費用の補助をすることで

- ①活動費用の負担が減る
- ②活動が継続しやすくなる
- ③活動意欲も高まり活動が活発になる
- ④共生社会の促進が図られる

障がい者の支援を目的とする団体

【補助対象活動内容】 ①ピアサポート※ ②災害対策 ③孤立防止活動 ④社会活動 ⑤ボランティア活動 ⑥理解促進 等

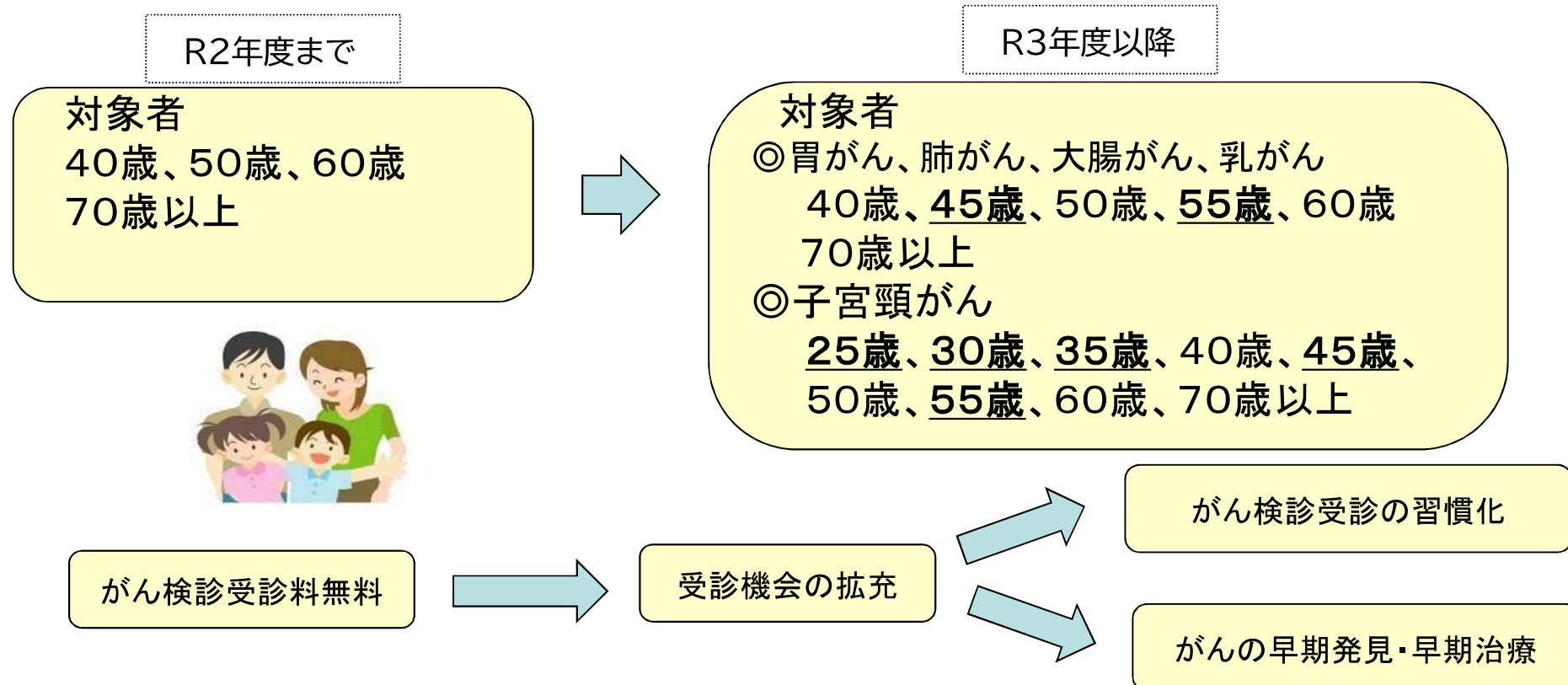
※ピアサポート: 当事者会や家族会などの同じような立場にある方同士が、同じ悩みを共有し、支えあう取り組み



事業名	「がん検診」無料の対象年齢を拡大 (健康福祉部 健康増進課)	事業費 : 900万円
-----	-----------------------------------	-------------

検診費用無料の対象年齢を若い世代にも拡大することで、検診を受診しやすい環境整備を行うとともに、各年代においても、がん検診の受診が習慣化することで、受診率の向上とがんの早期発見・早期治療をめざします。

5がん検診(胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん)無料の対象年齢の拡大!!



事業名	若年者の在宅ターミナルケア※を支援 (健康福祉部 健康増進課) ※ターミナルケア:余命がわずかとなった方が穏やかに過ごすための医療・介護等
-----	---

事業費 : 32万円

40歳未満のがん患者の方が、住み慣れた自宅で、最期まで自分らしく安心して日常生活を送れるよう訪問介護や福祉用具貸与に係る利用料の一部を助成します。

対象者
 在宅で生活をしている方で、緩和ケアを行っている40歳未満の末期がんの方。

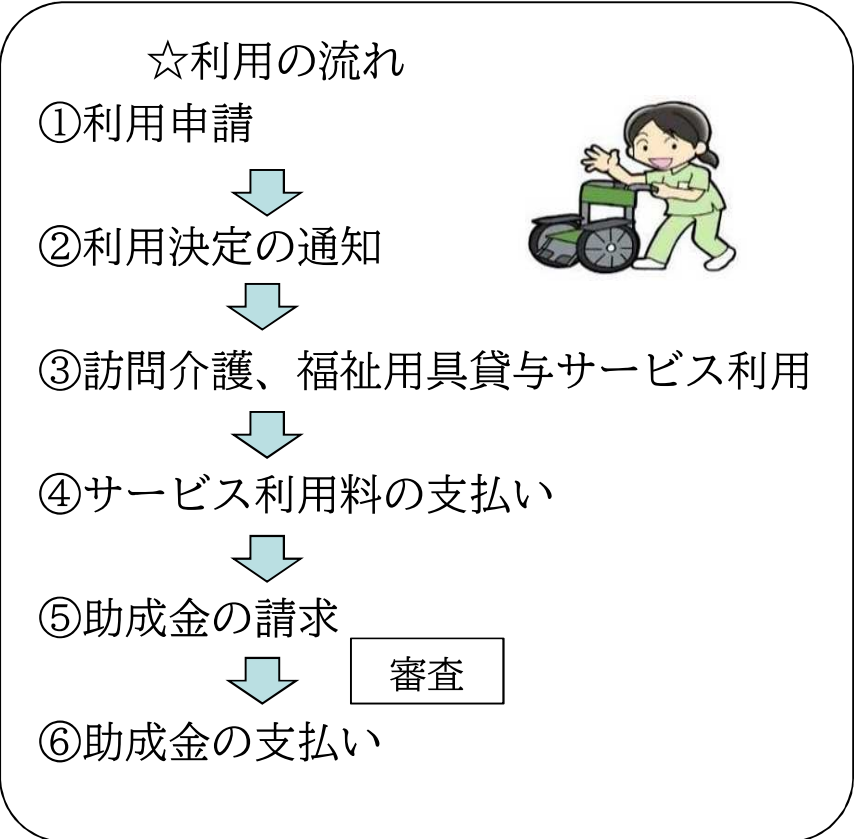
☆サービス内容…月額6万(上限)を助成
 ○訪問介護(ホームヘルプサービス)…週3回までホームヘルパーが訪問し、日常生活の介護や家事援助を行います。

- ・身体介護
- ・生活援助
- ・通院等乗降介助

○福祉用具貸与(レンタル)



☆利用者負担
 利用者がいったん全額を支払い、その後9割相当を助成します。



事業名

緊急通報システム事業の対象者を拡充 (健康福祉部 介護保険課)

事業費:13万円

65歳以上のひとり暮らし世帯や高齢夫婦世帯には、緊急通報システムを貸し出し、急激な体調の変化や転倒など緊急時の不安を解消しています。

この対象者について、夫婦に限らず、緊急時の通報が難しい方がいる65歳以上のみの世帯に広げ、より多くの方の緊急時の不安解消や生活の安全の確保を図ります。

対象者の拡充

対象者

- ・65歳以上のひとり暮らし世帯
(日中ひとりのみの世帯も含む)
- ・寝たきり、認知症等で緊急時の対応が難しい方がいる
65歳以上の夫婦世帯

令和3年度から

65歳以上のみの高齢者世帯
夫婦に限らず、親子、兄弟姉妹でも対象



事業名

花のあるまちづくり活動の促進支援
(都市整備部 都市政策課)

事業費：150万円

美しい街並みと景観を形成するため、みどり豊かな花のあるまちづくりに寄与する活動を行う市民活動団体を支援します。

市民活動団体（ボランティア団体）

三木市をみどり豊かな花のあるまちにしたい！

自分のまちを美しい街並みにしたい！

花のあるきれいなまちに貢献して、
三木市の皆が喜んでくれたら嬉しい！



支援金（補助金）
1団体あたり
最大5万円／年

三木市

【支援の対象（条件など）】

<対象となる団体>

- (1)三木市内を拠点として活動
- (2)メンバーが2人以上の団体
- (3)メンバーの半数以上が三木市民

など



※写真はイメージです

<対象となる活動>

花のあるまちづくりに寄与する活動（花植え、緑化活動など）

<活動場所>

市や自治会が管理する公共的なスペースなど
(公園、歩道、公共施設の周辺ほか)



<対象となる経費>

支援の対象となる活動に必要な費用（花苗代、肥料代、スコップ・プランターなどの購入費用など）

事業名

吉川支所再配置事業

(吉川支所市民生活課)

事業費：4,135万円

吉川支所を吉川健康福祉センターに移し（設置）、支所機能（窓口）を一元化することで、市民サービスの向上を図ります。

現吉川支所の空きスペースは、学習スペースや多世代交流スペースとして整備します。また、新たな生活様式のワークスタイルであるテレワークにも対応できるように整備します。

吉川健康福祉センター

支所を設置(支所機能を統合)

- ・事務所の改修
【 990万円】
- ・システム関係等の移設
【 540万円】
- ・電話交換機の更新
【 800万円】
- ・オストメイトトイレの設置など施設の修繕
【 321万円】



支所機能を一元化することで、「行政エリア」として位置づけ

統合

現:吉川支所

学習スペースと多世代交流スペースを整備

- ・学習スペース、
多世代交流スペースの整備
【1,284万円】
- ・テレワークスペース
への対応
【 90万円】
- ・事務所の移転
【 110万円】



吉川町公民館、吉川図書館と合わせて「社会教育エリア」として位置づけ

事業名

認知症カフェの運営を支援 (健康福祉部 介護保険課)

事業費:13万円

認知症の方とその家族が互いに交流するとともに、認知症について地域住民の理解を深めるために開催する認知症カフェに対して、補助金を交付することで、認知症カフェの運営促進を図ります。

認知症カフェ

認知症になっても安心して住み慣れた地域でその人らしい生活ができるよう、認知症の人や疑いのある人、その家族、地域住民及び専門職等の誰もが安心して気軽に集うことのできる場です。

認知症の方やその家族が 安心して地域で暮らしていけるために



補助の条件

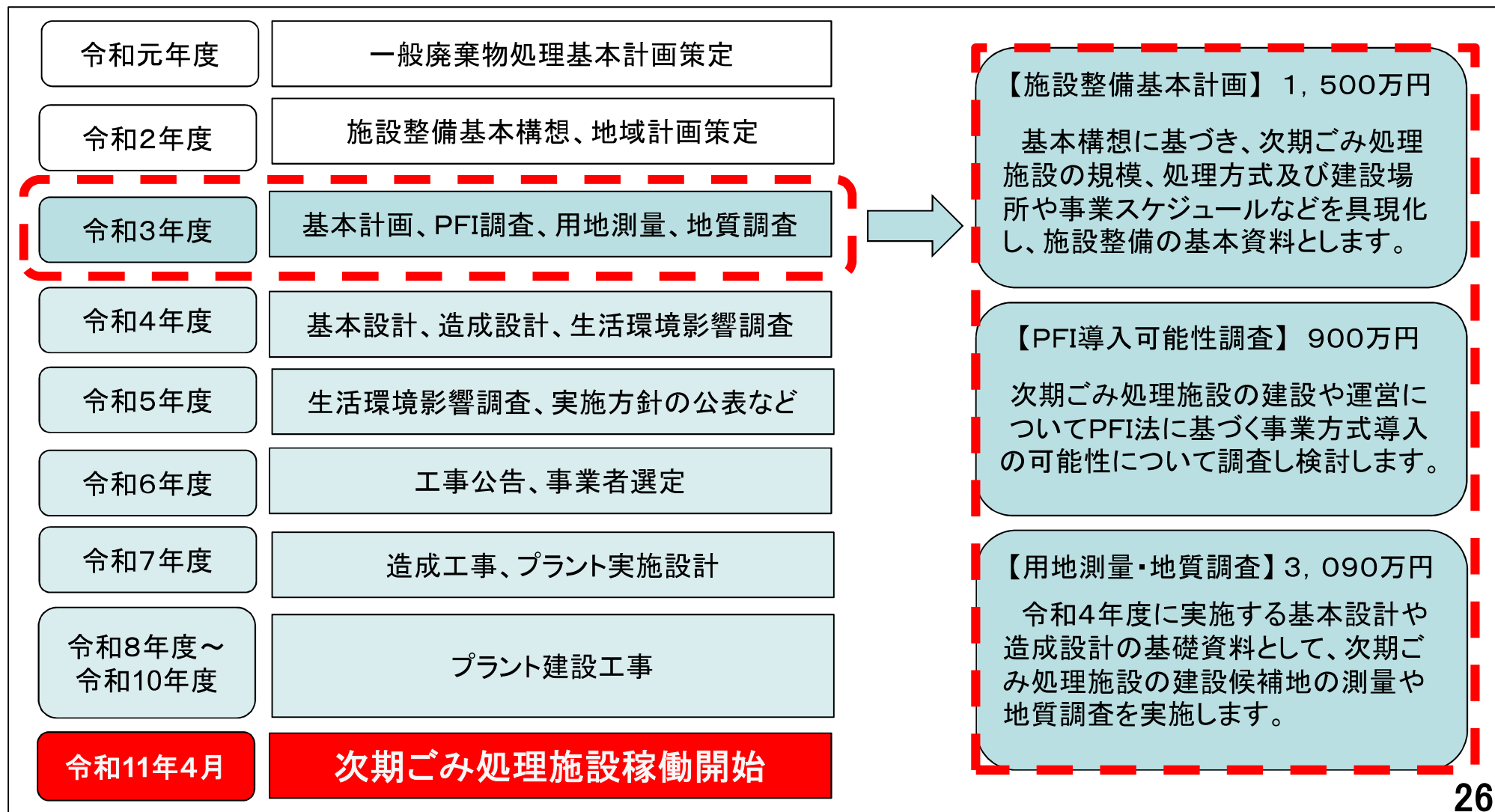
- 認知症または疑いのある人やその家族及び地域住民等、誰もが安心して気軽に参加でき、地域に開かれた場となるよう努めること
- 原則月1回以上開催すること
- 認知症に対する正しい知識及び理解の普及啓発を行っていること
- その他要綱の条件を満たすこと

基礎補助金額 上限48,000円/年 + その他加算補助金あり

事業名 次期ごみ処理施設の整備（市民生活部 生活環境課）

事業費：5,560万円

平成10年から稼働している清掃センターを更新するために、国の循環型社会形成推進交付金を活用し、必要な計画、調査、設計及び工事を行います。



事業名 三木市「クールチョイス」の推進 (市民生活部 生活環境課)

事業費 :500万円

市民や事業者と連携して国が提唱する「COOL CHOICE (クールチョイス)」を推進することで、市内の二酸化炭素排出量を削減し、地球温暖化の防止に貢献します。

めざすべき最終目標

2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「2050年カーボンニュートラル」の実現

地球温暖化の防止に貢献

「COOL CHOICE」の推進

※COOL CHOICEとは・・・

2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標達成のために、日本が世界に誇る省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動のこと。

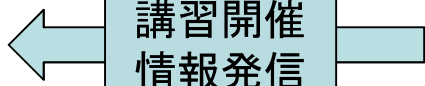
市民



参加
実践



講習開催
情報発信



行政

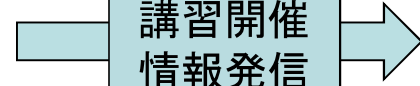


市役所や公共施設で
COOL CHOICEを実践

参加
実践



講習開催
情報発信



事業者



(庁内照明のLED化、電気自動車の導入、クールビズなど)

事業名

吉川地域におけるデマンド型交通の運行
(都市整備部 交通政策課)

事業費 : 2,808万円

従来の吉川第1～第4ルート（よかたんバス）に代わる新たな移動手段として、令和3年4月1日から吉川地域においてデマンド型交通の運行を開始します。

令和3年度の支援内容

デマンド型交通の運行

デマンド型交通の予約運行
システムの利用

利用者登録の受付

利用予約の受付

デマンド型交通の利用イメージ

利用者登録

住所、氏名などの
利用者情報を登録



利用予約

電話又はインターネット
により、利用予約



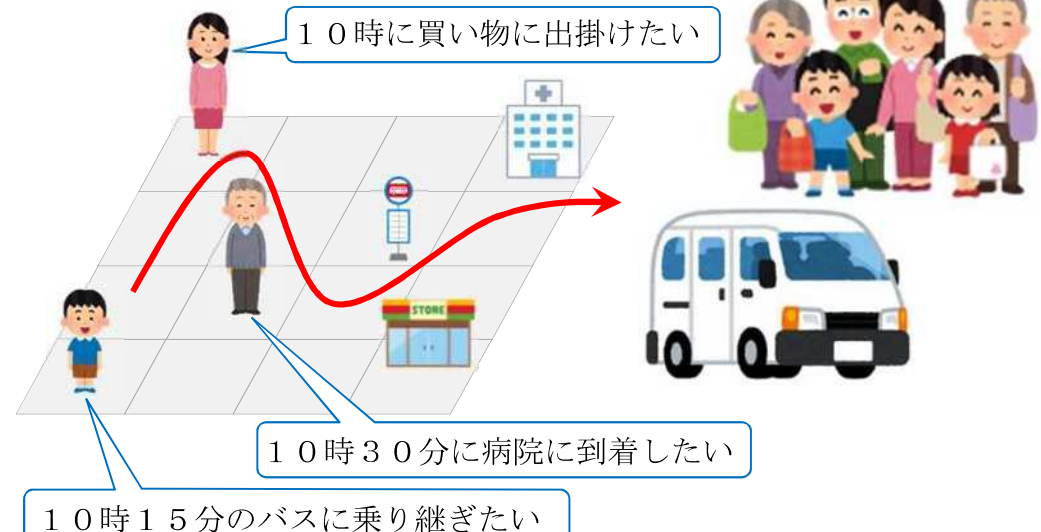
予約運行システムの利用

複数の利用者の乗降希望場所や
到着希望時刻などを踏まえ、
最適な運行ルート进行計算し、
配車を指示



デマンド型交通の運行

複数の利用者が乗り合わせ、目的地まで送迎



デマンド型交通の運行により交通空白地の移動手段を確保するとともに、自宅等への送迎による利便性の向上を図ります

事業名

中国自動車道吉川インター駐車場の拡張整備
(都市整備部 交通政策課)

事業費：511万円

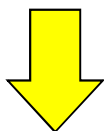
駐車スペースの不足が慢性化している中国自動車道吉川インター駐車場の問題を解消するため、駐車場を拡張します。

併せて、パークアンドライドを推進することにより、バス利用を促進します。

吉川インター駐車場の拡張整備

- 【現状】
- ・現在の駐車場では、正規枠外への駐車及び周辺道路への路上駐車が頻繁に発生しているなど、駐車スペースの不足が慢性化している。
 - ・定期的に駐車場の利用実態調査を行っているが、長期間の駐車や目的外利用の駐車などの迷惑駐車はみられない。
 - ・このため、駐車場の拡張以外には、路上駐車の問題を解消する方法がない。

駐車場の
拡張整備



- ・路上駐車の解消による周辺環境の向上
- ・パークアンドライドの推進によるバス(中国高速バス)の利用促進

<整備スケジュール>

令和3年5月～6月	測量委託	測量及び鑑定委託料	148万円
7月～8月	鑑定委託		
11月	地権者と 売買契約	用地購入費	250万円
令和3年12月～	整備工事	整備工事費	110万円



吉川インター駐車場拡張用地箇所図

事業名

神戸電鉄粟生線三木駅の再生 (都市整備部 交通政策課)

事業費 : 2億2,355万円

平成30年3月の火災により焼失した三木駅の再生に当たり、駅自体の機能の復旧のみならず、駅施設に三木市観光協会を誘致することにより駅周辺のにぎわいづくりとともに、路線バスと粟生線の交通結節点としての役割を強化し、粟生線の更なる活性化に資する交通環境を構築します(令和3年12月頃オープン予定)。



◆三木駅再生に向けた整備内容◆

駅前広場(ロータリー)の整備



【令和2年度まで】

- ・ 駅前広場の基本及び詳細設計
- ・ 駅の近隣地権者との用地交渉
- ・ 駅前広場等の整備に関する関係機関との協議

【令和3年度】

- ・ 駅近隣地権者との用地交渉を継続 → 完了へ
- ・ 駅前広場(ロータリー)の整備工事を実施

主な事業の内容及び金額

事業の内容	金額
駅前広場等の整備工事	6,620万円
物件補償費(PCB保管庫移設)	400万円
計	7,020万円

新駅舎の整備

【令和2年度まで】

- ・ 「三木駅デザイン総選挙!!」により決定した外観デザイン「モダン風(斬新・現代風)」を踏まえた詳細設計

【令和3年度】

- ・ 新駅舎の整備工事(※令和3年5月頃着工予定)
- ・ 三木市観光協会スペース、展示・待合スペース、駅前市民トイレの管理(R3年12月頃完成後～)

事業の内容	金額
新駅舎の整備工事	1億5,000万円
新駅舎の内装及び展示品	310万円
計	1億5,310万円

整備工事には、三木駅再生のための寄附金を活用

- 1億3,900万円(R2.12月末現在)
- (内訳)
- ・ 粟生線サポーターズくらぶ特別会員協力金 ※788万円
 - ・ 市独自の寄附制度による寄附金 971万円
 - ・ 三木市ふるさと納税(整備充当可能額) 1億2,141万円
※神戸電鉄の改札設備などに充当

魅力あふれる三木駅へ、令和3年12月頃オープン(予定)

事業名

し尿処理施設の更新

(市民生活部 環境課)

事業費 :1,500万円

令和2年度に策定するクリーンセンター施設整備基本方針に基づき、大規模改修を実施するにあたり、施設規模、処理方法、施設配置、工事費用及びその財源等について、課題の整理を行い、施設整備の基本計画を策定するとともに、当該整備事業に伴う周辺地域への生活環境影響調査を実施します。

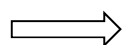
令和3年度

施設整備基本計画

- ・大規模改修⇒処理能力・処理方式の検討、改修範囲の検討、改修工事費及びランニングコストの算出、財源計画等

生活環境影響調査

- ・現状の臭気、騒音、振動
- ・予測の臭気、騒音、振動



環境保全対策の検討



令和4年度



大規模改修工事発注支援業務

- ・工事発注に向けて資料作成やプラントメーカーに対する技術審査等を実施し、工事発注仕様書の作成

令和5年度



大規模改修

- ・工事着工 (令和7年3月完成予定)



事業名

地籍調査事業の推進

(産業振興部 農業振興課)

事業費 : 27万円

境界が確定していない三木市吉川町内の宅地及びほ場整備区域外の農地等を測量し、用地境界の確定、座標図の登記を行う地籍調査事業を推進します。

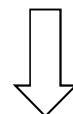
事業箇所：三木市 吉川町

実施面積：約430ha

事業期間：令和3年度～令和19年度

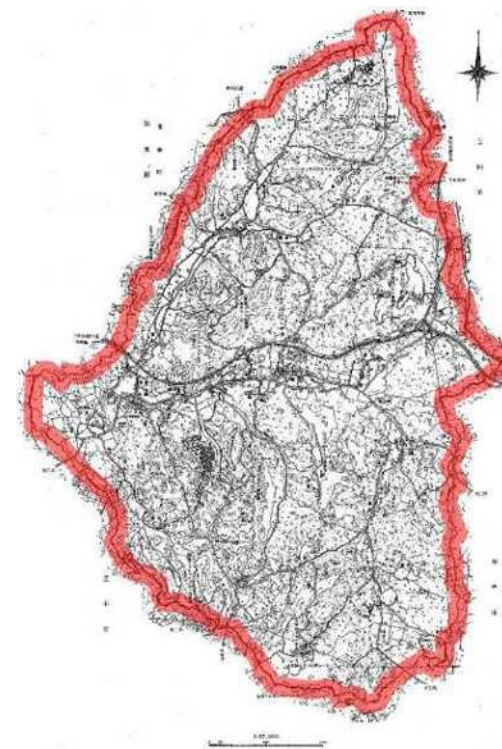


字限図(地籍調査前)



地籍図(地籍調査後)

吉川町地籍調査エリア



事業の内容 (1区域※)

- 1年目：字限図及び登記簿等調査、地元説明
- 2年目：基準点測量、境界立会い、一筆測量
- 3年目：資料とりまとめ
- 4年目：登記申請

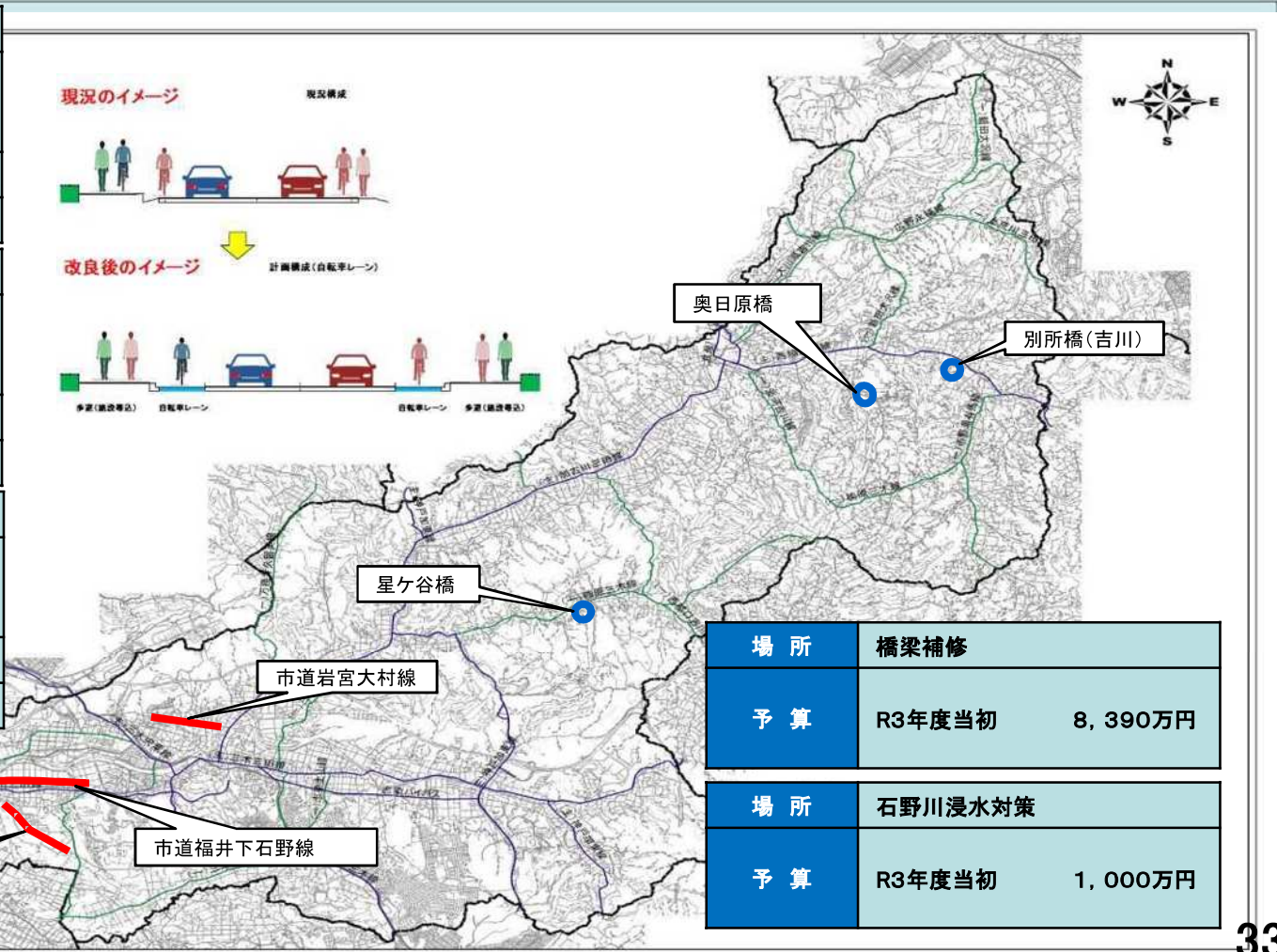
※区域は自治会単位を想定

事業名	市内の主要幹線道路等の整備や老朽化した橋梁の補修 (都市整備部 道路河川課)
------------	---

事業費 : 4億4,000万円 (うち3月補正 : 2億4,800万円)

歩行者及び車両（自転車含む）の安全を確保するため、市道岩宮大村線等の市内主要幹線道路の整備を進めます。また、老朽化している橋梁等の施設の補修や危険個所を整備することで、安全安心な住環境づくりに寄与します。

場所	市道岩宮大村線
予算	R2年度3月補正 2,300万円 R3年度当初 9,810万円
事業費	総事業費16億円（予定）
事業期間	R1年度～R6年度（予定）
場所	市道花尻城山線
予算	R2年度3月補正 1億7,000万円
事業費	総事業費 4億円（予定）
事業期間	R1年度～R5年度（予定）
場所	市道福井下石野線
予算	R2年度3月補正 5,500万円
事業費	総事業費 1億円
事業期間	R1年度～R3年度



事業名

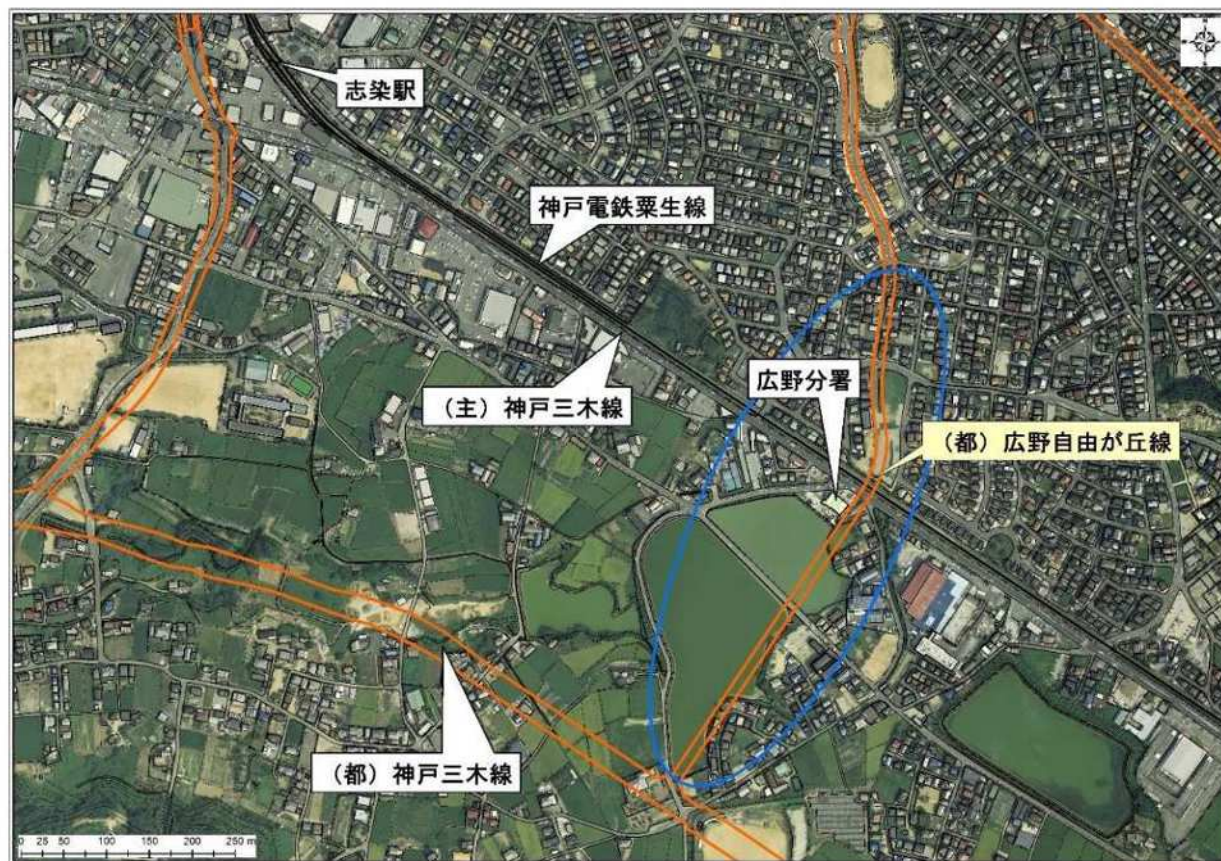
広野自由が丘線の整備を検討 (都市整備部 都市政策課)

事業費 : 1,000万円

都市計画道路の広野自由が丘線の概略設計を実施し、神戸電鉄粟生線との立体交差や都市計画道路 神戸三木線との接続について、実現性や有効性の検証を行い、必要に応じて都市計画の変更を行います。

年度	事業内容
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 概略設計 概略設計交通量推計 事業化の検討
令和4年度以降	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画変更 (必要に応じて) 用地先行買収

凡 例	
	都市計画道路
	検討範囲



次世代に負担を先送りすることなく、限られた財源の中で、将来にわたって質の高い公共サービスを提供し続けるため、令和3年3月に策定（予定）する「三木市公共施設再配置計画」に基づき、将来の人口規模や市民ニーズに適合した公共施設の適正規模・適正配置を進めます。

公共施設再配置の推進

公共施設再配置計画

三木市公共施設等総合管理計画
(平成29年3月策定)

個別施設計画

インフラ施設

上下水道

公園

橋梁

道路

公共建築物

学校

市営住宅

庁舎
公民館
その他

三木市公共施設再配置計画
(令和3年3月策定(予定))

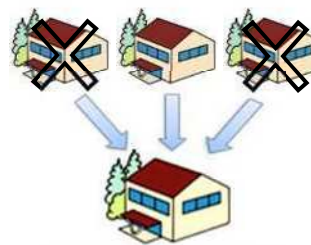
【再配置のイメージ】

長寿命化



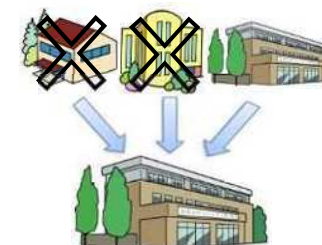
大規模
改修工事

集約化



同じ機能の施設を
1つの施設に集約

複合化



異なる機能の施設を
1つの施設に集約

《 R3年度の取り組み 》

◎吉川体育館取り壊し(生涯学習課)
事業費 1億2,140万円

◎上の丸保育所取り壊し(教育施設課)
事業費 2,400万円

事業名

地域防災計画の見直し

(総合政策部 危機管理課)

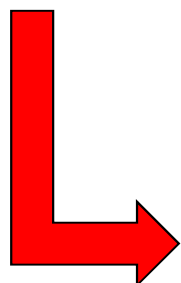
事業費 :400万円

三木市地域防災計画において想定する最大の被害は、平成23年度三木市地震被害想定検討業務によるものであり、計画策定から9年が経過しています。三木市の人口等も減少していることから、計画の基準となる地震動予測や液状化危険度判定などの見直しを行うことにより、被害想定を修正し地域防災計画の内容を高め、大規模災害時の対応に備えます。

三木市地域防災計画

※災害対策基本法第42条に基づく計画

※山崎断層帯主部及び草谷断層が連動して発生した場合の地震を最大の被害とする災害計画



見直し
人口減等による

(1) 地震被害想定の見直し

地震動予測の整理、液状化危険度判定、土砂災害危険度判定、建物被害予測、出火・延焼被害予測、人的被害予測、ライフライン機能支障整理、住機能支障検討、飲食機能支障検討、医療機能支障検討、清掃衛生機能支障検討等

(2) 報告書・震度分布図等作成

スケジュール(予定)

- 業務発注・契約 (5月) ⇒ 地域防災計画見直し作業 (6月~10月)
- ⇒ 防災会議の開催(地域防災計画内容審査) (2月)
- ⇒ 地域防災計画確定 (3月)



事業名

ため池ハザードマップを作成 (産業振興部 農業振興課)

事業費 :1,800万円

地震や豪雨等による災害時に、ため池が決壊したことを想定した被災範囲を示すとともに、被災範囲内住民の避難経路や緊急道路の迂回計画等を地図に示し、有事の際の防災指標とします。

計画箇所数:6箇所

ため池が決壊したら？



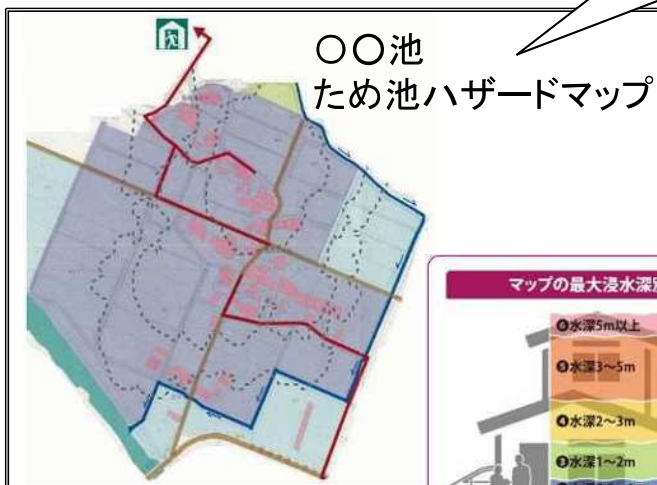
ため池ハザードマップ記載事項

1. 浸水範囲及び浸水深さ
2. 洪水到達時間
3. 避難経路
4. 避難場所
5. その他

安全な避難経路は？



地域内で話し合いながら作成



防災情報を共有



事業名

大規模盛土造成地の調査を実施 (都市整備部 建築住宅課)

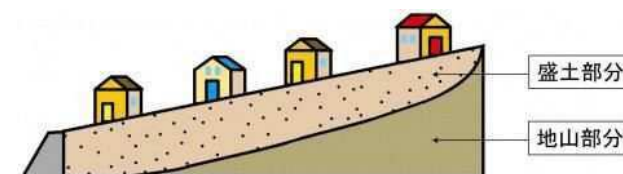
事業費 : 200万円

近年地震による宅地被害が多発したことを踏まえ、兵庫県では平成20年度より大規模盛土の地下水位等変動予測調査を行っています。三木市内では調査を行う優先度の高い場所が8カ所あり、そのうち3カ所については調査の結果、安全が確認できました。残り5カ所について、令和3年～令和7年の間に毎年1カ所ずつ調査を行っていきます。

①大規模盛土とは

大規模盛土造成地とは、谷を埋め立てた造成地で、盛土の面積が3,000㎡以上のももしくは、傾斜地に盛土した造成地で、造成前の地山の勾配が20度以上かつ、盛土の高さが5m以上のものです。

谷埋め型盛土(3,000㎡以上)



腹付け型盛土



②大規模盛土をなぜ調査するのか

阪神淡路大震災や新潟県中越沖地震等の際に大規模に谷を埋めた盛土造成地において地すべりの崩落が発生したことを踏まえ平成18年に宅地造成等規制法が改正され、補助制度として宅地耐震推進事業が創設されました。既存の盛土の安全確認を行う事により住民の生命や財産を守ることを目的に詳細な調査を実施します。

③大規模盛土は危険なのか

地震が起きた場合、盛土箇所が必ずしも危険というわけではありません。地下水の処理と盛土の締固めが適切に行われていれば安全です。

④調査結果が良くない場合

詳細な調査により、安全率を満足しない場合は、宅地造成規制法に基づく造成宅地防災区域の指定などを行い、対策工事の実施を行うこととなります。

事業名

「三木版るるぶ」を更新

(産業振興部 観光振興課)

事業費 :460万円

観光パンフレットを「三木版るるぶ」に転換したことで、市内外の幅広い世代に手に取ってもらいやすくなり、るるぶを持って三木市を訪れるなど集客手段の一つになっています。

このたび、情報の更新と新たな魅力を追加した改訂版を製作し、さらに三木の魅力を発信します。

現行



三木鉄道記念公園



よかたん



みきっころんど



道の駅みき



あじさい
フローラみき



内容の更新・充実、
新たな魅力をプラス

改訂版

○4ページ増

現行12ページから16ページに増やす

○情報を更新

料金や営業時間の変更等を更新

○内容を充実

紹介されていなかった施設を追加

○新たな観光名所を追加

あじさいフローラみきなどの新たな施設を追加



事業名

サイクルツーリズムを推進

(産業振興部 観光振興課)

事業費 :5,542万円
(うち3月補正:5,500万円)

本市には兵庫県を代表する広域の「ひょうごサイクリングモデルルート」として「山田錦の里ロングライドコース」があることから、自転車利用の受入環境を整えていくとともに、商業や観光事業との連携による多彩な観光資源を活用した自転車の利用推進により、交流人口の増加、観光誘客を図ります。

1 東・北播磨「山田錦の里ロングライドコース」の整備(道路河川課)

市道福井下石野線(別所ゆめ街道)
⇒自転車歩行者専用道路へ整備
(R2年度~R3年度)



整備イメージ



サイクリストの走行イメージ

2 サイクリストが快適に利用できる受け入れ環境の整備

サイクルステーション整備イメージ

道の駅や山田錦の館を拠点とし、サイクリングの発着地やサイクリストの集う場所として利用してもらうため、サイクルラックや工具貸し出し等の整備を行う



道の駅みき



山田錦の館



サイクリストのための
駐車場



情報発信の拠点



サイクルラック設置



自転車トラブルへの対応
工具貸出

サイクルステーション化における主な整備内容

観光施設や飲食店等の周遊を促す
～ 人の流れの創造 ～



交流人口の増加
観光誘客



吉川温泉よかたん



飲食物産館



あじさいフローラみき

事業名

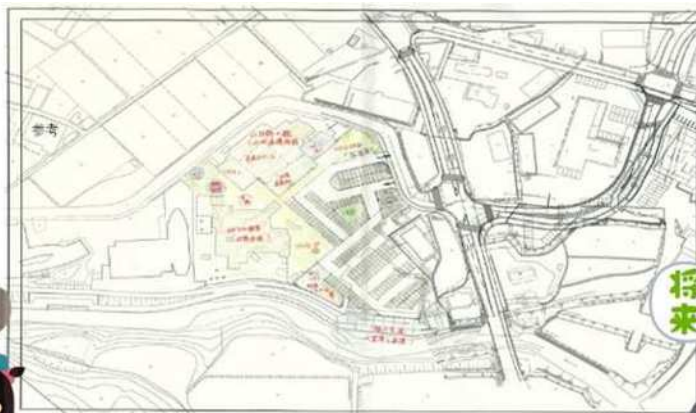
山田錦の郷の活性化の推進

(産業振興部 観光振興課)

事業費 : 3,990万円

令和2年度に策定中の「山田錦の郷活性化構想」の実現に向けて概略設計を行います。
また、吉川温泉よかたんの経営改善に向けて、排水処理施設の一部を更新し、延命化を図るとともに井戸を掘削し、排水処理時に使用する水を確保します。

山田錦の郷活性化構想



令和3年度に概略設計を行い、
山田錦の郷の活性化を推進

- ・市民の交流促進
- ・地域特性を生かした新たな魅力づくり
- ・いきいきと活力のあるまちづくり
- ・情報発信、PR



排水処理設備更新工事

井戸新設工事



事業名

三木金物ブランド戦略の推進 (産業振興部 商工振興課)

事業費 : 360万円

展示会への出展や直接の商談が困難なコロナ禍においても海外を中心に販路を模索し、アフターコロナの商談へと繋がるよう、三木金物商工協同組合連合会が実施するオンラインによる情報発信力の強化を図る取組を支援することにより、小規模な事業所を中心に、三木金物のブランド化を推進します。

現状

海外進出戦略事業(みきかなもんプロジェクト)

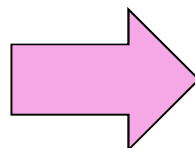
<概要> 海外展示会への出展を支援

<成果> 新販路の開拓、新規顧客の獲得



◎海外販路開拓の機運がさらに高まっている

◎継続していく要望あり



解決策

ホームページのリニューアル

- ①外国語対応
- ②事業所のPR
- ③動画による三木金物の魅力・技術力の発信

事業実施主体：三木金物商工協同組合連合会



支援

三木市

補助金 360万円



新たな課題

- ・コロナ禍により、海外展示会への参加が難しい
- ・海外に渡航しなくても現地のバイヤーにPRする方法が必要

コロナ禍においても新しい販路を模索する。
アフターコロナにおける展示会や商談につなげる。
小規模な事業所の技術力をPRする。



三木金物の
ブランド浸透

事業名

酒米山田錦のブランド化を推進 (産業振興部 農業振興課)

事業費 : 80万円

国内の日本酒消費低迷を一因とした山田錦の消費量低迷に対し、山田錦を使用した商品を普及することにより消費ニーズ及び山田錦の知名度向上と、ブランド力の強化を図ります。



東京オリンピック選手団
フランス(陸上競技)

東京パラリンピック選手団
ネパール(テコンドー)

関係者への配布や
セレモニーでの提供など

～ 歓迎酒 ～

- ・ 三木市内の蔵元で醸造
- ・ IWC 銅賞受賞酒
- ・ 三木市特A地区産山田錦を100%使用



PRキーワード

酒米の王様「山田錦」
日本一の生産量を誇るまち
三木市

日本酒の普及・振興
三木産山田錦

海外への日本酒振興

ブリュッセル国際大会 (Concours Mondial de Bruxelles)



SAKE
—selection—
EXPERIENCE THE EXCELLENCE
by Concours Mondial

出品料 20,000円

「山田錦」の産地として
三木市や市内の地名を
標榜する日本酒に対し、
出品料を助成。

1社あたり2銘柄を上限

対象銘柄 : 25銘柄

事業名

三木市史の編さん

(総務部 市史編さん室)

事業費 :4,106万円

『三木市史』・『吉川町誌』から半世紀が経ち、新たな三木市史の編さん事業に取り組んでいます。
神戸大学との連携による、学術的な水準の高い通史編と、公民館ごとに地域の歴史や、文化、伝統を発掘していく住民参加型の地域編を順次刊行します。

三木に息づく豊かな歴史や文化、
伝統を後世に伝えるため、
新たな三木市史の編さんを進めます

神戸大学や市民ボランティアとの連携

《通史編》

(資料編を含む。)

＜神戸大学との連携＞

自然環境・原始・古代・中世
・近世・近代・現代

《地域編》

(市内10公民館単位)

＜住民参加型＞

刊行(予定)年度

令和元年度(口吉川)、令和2年度(志染)

令和3年度

緑が丘、吉川

令和4年度以降

三木、青山、細川、別所、
三木南、自由が丘

事業名

異業種の交流・連携の促進

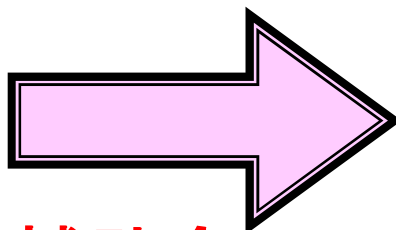
(産業振興部 商工振興課)

事業費 :100万円

市内の複数の中小企業・小規模事業者等が、アイデアを持ち寄り、異業種間で交流・連携する機会を提供し、グループによる新商品開発および販路開拓・拡大を促進します。

事業実施主体:三木商工会議所

三木市



補助金
100万円

異業種交流セミナー

「にっぽんの宝物プロジェクト」セミナー

ビジネスの気づき・新たな学びの場を醸成する。
地元に眠る優れた商品・人材を発掘し、磨き上げる。
異業種間のコラボレーションによる商品開発を促す。
新たな販路開拓・拡大につなげる。

全国・世界に
通用する
逸品の輩出

ビジョン:2025年「大阪万博」での出品をめざす!

項目	ゴルフを核にしたまちづくりの推進 (産業振興部 ゴルフのまち推進課)
----	---------------------------------------

事業費：7,352万円

「ゴルフのまち三木」を広くPRし、産業の活性化につなげ、「ゴルフを核にしたまちづくり」を進めます。
「トーナメントコースを多く有している本市で、全国高等学校・中学校ゴルフ選手権春季大会（「通称：春高・春中ゴルフ」）を毎年開催することにより、春高ゴルフの聖地として『ゴルフのまち三木』を全国にPRします。
日本プロゴルフ協会との連携によるジュニア育成事業を展開し、ジュニア世代がゴルフに親しみやすい環境づくりを進めます。

【ゴルフのまち三木のPR】
プロの登竜門となる大会の開催や春高・春中の恒久的開催などにより「ゴルフのまち三木」を全国にPR

- ・第5回三木市レディースゴルフトーナメント（7月）
会場：三木ゴルフ倶楽部
- ・春高・春中ゴルフ（3月）
会場：オリムピックゴルフ倶楽部、チェリーヒルズゴルフクラブ、三木ゴルフ倶楽部

【日本プロゴルフ協会と連携したジュニア育成】
ゴルフに親しみを持ち、ゴルフを身近に感じられる環境づくりを推進

- ・ゴルフ場体験事業・ゴルフ教室・スナッグゴルフ大会・講習会の実施

【ゴルフ場の活性化】
ゴルフ人口と市内ゴルフ場への来場者数を増やし、ゴルフ産業をさらに活性化

- ・ゴルフ場スタンプラリー・みっきいドリームチャレンジの実施
- ・三木市ゴルフ大会・地区対抗・企業対抗ゴルフ大会の開催
- ・初心者ゴルファー教室の開催



事業名

新しい農業のかたちの創出

(産業振興部 農業振興課)

事業費 : 58万円

令和2年度に実施した農業者アンケートから抽出した将来的な農業生産における課題に対応するため、10年先も農業が継続できる体制の整備に向けて、先進的なスマート農業の導入や6次産業化、農福連携などの新しい農業のスタイルや、より効率的な農業の実現に向け、生産者とともに研究を進めていきます。



スマート農業

スマート農業推進セミナー
(初級編座学)
スマート農業体験セミナー
(企業連携デモンストレーション)



農福連携

農福連携推進セミナー
(現地コーディネーター養成)
(生産者セミナー)



6次産業化

6次産業化セミナー
営農組合法人化セミナー
(生産者セミナー)



女性農業者

女性農業者セミナー
(家族経営協定座学)
(農業女子プロジェクト)



山田錦

山田錦セミナー
(山田錦語り部事業)

農福連携

- ・農福連携ワーキングチーム編成(市・県・JA)
- ・基本データ(生産者・雇用者)収集
- ・ニーズ把握のためのアンケート調査
- ・意見集約・課題抽出
- ・事業素案の検討
- ・マッチング・コーディネート準備

事業名

地産地消の推進(学校給食事業への繰り出しを増額)
(産業振興部 農業振興課)

事業費 : 350万円

学校給食に地域の農産物を提供することで、地産地消を推進し、農業の活性化並びに児童生徒の食育の推進を図ります。市内産農産物等の取り扱い量の増加を踏まえて、令和3年度から繰出金を増額します。

地産地消の推進



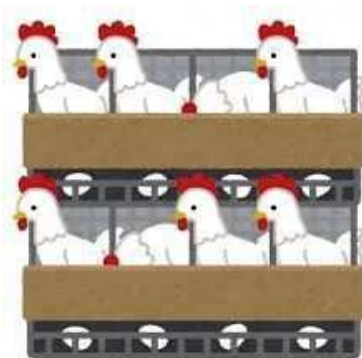
学校給食に出荷された品目

さつまいも・じゃがいも・キャベツ・大根・茹で筍・玉葱・
トマト・ナス・人参・青ネギ・白菜・緑豆モヤシ・マッシュルーム・
黒大豆・京ネギ・卵・錦みそ (17品目)

年間延べ品目数 : 58 品目(全体比:23.7%)
年間使用量 : 26,561 kg(全体比:20.7%)
合計仕入額 : 7,809,626 円(全体比:24.5%)



食育の推進のため地元産と
市場調達の価格差を補填



令和2年度まで 200万円

市内産農産物の取り扱い数量や
品数の増加を受け、350万円に
増額



事業名

スマートインターチェンジの整備
(都市整備部 プロジェクト推進課)

事業費 :1億9300万円

三木市街地から最も近い(仮称)三木スマートインターチェンジと、接続する市道の整備を進めます。完成すれば、国道・県道が渋滞していても、その影響をほとんど受けることなく山陽自動車道にアクセスでき、周辺地域の交通渋滞緩和や交通事故削減、地域活性化などに役立ちます。



事業名

ひょうご情報公園都市の整備の促進
(都市整備部 プロジェクト推進課)

事業費 : 3,600万円

企業立地の促進や雇用の場の創出、民間企業の新たなニーズに対応するため、兵庫県企業庁と三木市が共同事業で整備する「ひょうご情報公園都市」次期工区の着手にあわせて、交通渋滞を緩和するための道路を検討します。

令和3年度

地形測量 N=1式
地質調査 N=1式
道路予備設計 L=2.1km



事業名	郷土の文化・芸術の発信の強化(上田桑鳩寄贈作品の活用) (教育総務部 文化・スポーツ課)
-----	---

事業費 : 328万円

三木市出身の書道家 上田桑鳩氏の孫、上田氏（東京都在住）からの寄附を活用して、地域の文化・芸術の発信を強化します。



寄附申出品 作品約210点、
著書、関連出版物、書籍など約100点
愛用品、写真など約400点



寄贈作品の一部

第6回日展出品作品

第15回奎星展出品作品

収納に必要な備品

作品保存用桐製収納箱

掛け軸収納用保存箱

堀光美術館での特別展

みっきいホールでの常設展示

その他

展示場所(案)

- ・各公民館
- ・山田錦の館
- ・吉川総合公園など

事業名

グループウェアやネットワーク機器等の更新
(総合政策部 企画政策課)

事業費 : 6,000万円

保守が終了するグループウェアやネットワーク機器の更新を行い、行政事務の効率化とデジタル化を進めます。また、兵庫県情報セキュリティクラウドの更新に伴い、セキュリティ対策ソフト等の更新を行い、新しいネットワーク環境のセキュリティ確保とコストの抑制を図ります。

更新作業の概要

1 グループウェアの更新 【2,150万】

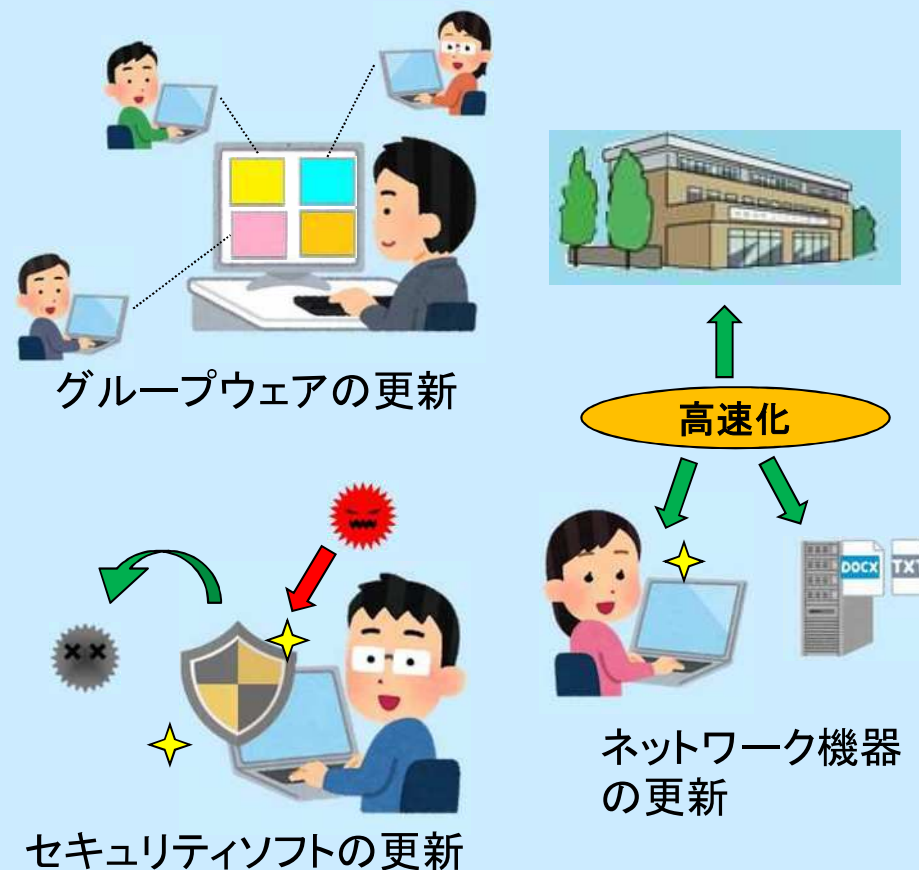
グループウェアを更新し、チャット等新たな機能を追加することにより業務の効率化を図る。今後は電子決裁や文書管理等とのデータ連携を検討し、行政事務のデジタル化を進める。

2 ネットワーク機器の更新 【2,810万】

保守が終了するネットワーク機器を更新し、公民館等の外部施設の通信速度を向上し、テレビ会議やサテライトオフィスの設置等に対応できる環境を整備する。

3 セキュリティソフトの更新 【1,040万】

兵庫県の情報セキュリティクラウド内で県と同じセキュリティソフトや無害化ソフト等を購入することで価格(サーバーの構築費用を含む)を抑え、セキュリティレベルを確保する。



事業名

市議会にタブレット端末を導入

(議会事務局)

事業費 : 560万円

市議会にタブレット端末を導入し、ペーパーレス会議の推進や議会運営の効率化、危機管理体制の強化、災害時の情報共有など、議会機能を強化します。

